

輝いて明日へ

誰にも優しい
地域社会をつくります

2026.1.16

社会福祉法人 ボワ・すみれ福祉会
理事長 田部井 真

テクノロジーと「職員のマインド」が織りなす福祉の新たな時代へ

あけましておめでとうございます。

日頃より法人経営、事業所運営にご理解ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

テクノロジーの進化により障がい者福祉業界は大きな転換点を迎えています。

重要なトレンドとして、「デジタル・ウェルビーイング」の深化が挙げられます。単なる効率化のための DX (デジタルトランスフォーメーション) から一歩進み、AI や最新のセンサー技術が、ご利用者の「心の動き」や「微細な体調変化」をより精度高く捉える時代となります。しかし、技術が進歩すればするほど、私たちに求められるのは「人間にしかできない共感と創造性」寄り添う力です。

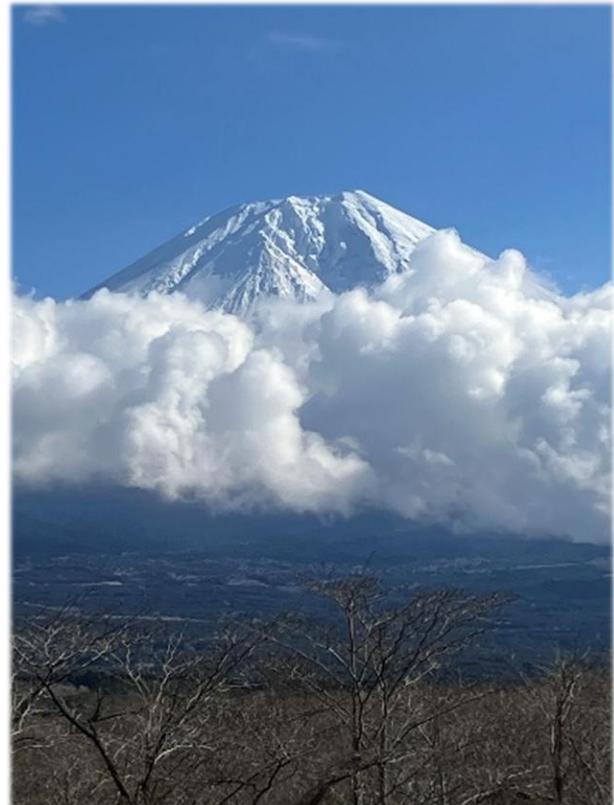
ICT 機器を賢く活用し、職員の負担を軽減。生み出された「時間のゆとり」を、ご利用者一人ひとりと向き合う「質の高い支援」へと還元することができます。

さらに、労働環境に関しても転換点を迎えていくと思います。働きやすさをどのように設定し労働環境の改善を行っていくか。例えば、優秀である職員の再定義なども躊躇なく取組みを行うことが求められていると思います。

「支える側」も「支えられる側」も、共に笑顔で過ごすことができる、優しい地域社会の実現に向けて。職員一同、新たな気持ちで取組みたいと思います。。

本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう、お願い申し上げます。

2026年 元旦





新年のご挨拶

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

さて、昨年法人部で進めていました花の郷の屋上の防水工事及び壁面のクラック工事につきまして、東京都による竣工検査が終了し、現在実績報告を提出しています。補助金の申請も滞りなく進んでいます。壁面の色は花の郷ご利用者、職員で投票して決めたそうです。壁面の紫色と屋根のオレンジ色が新たな地域のシンボルとなっていくのではないかと思います。

2026年は令和9年度の障害福祉サービスの報酬改定を待たずに処遇改善の期中改定が実施される予定になっています。現在、障害福祉分野でも深刻な人材不足で、募集をしてもなかなか応募がない状況が続いています。今回の期中改定が職員雇用につながっていくことを期待したいと思います。そのために法人本部としても適切に申請をしていきたいと考えています。

また、障害福祉サービス等報酬改定検討チームによる「令和6年度報酬改定後の状況を踏まえた課題」が検討されており、就労継続支援B型の基本報酬区分の基準の見直しが令和8年6月に施行予定ということです。各事業所及び法人の収入源となる報酬についてどのように改定されるのかを注視しながら、ご利用者に適切な福祉サービスを提供できるように法人として考えていかなければならないと思います。

2026年も法人本部は丁寧な仕事を心掛け、ご利用者が安心安全に施設を利用し、職員が安心して働く環境を作り充実した日々を過ごせるように、努力をしていきます。

(成澤 熱)

計画相談支援かけはし



「温かさ×効率=新しい相談支援」

障害者相談支援において私たちが大切にしているのは、モニタリングを定期的に行うことです。作成した計画がご利用者の「今」の生活に合っているか、新たなニーズはないか。これは、ご利用者の暮らしを支えるための欠かせないプロセスだと感じています。

しかし現場では、相談員が少ない中で効率の良い相談が求められるジレンマがあります。ご利用者やそのご家族とじっくり向き合うための時間と心のゆとりを生み出すことが課題です。

そこで期待されるのがAIの活用です。まずは日々の面談や訪問の記録にAIを活用し、会話の要約や分類を自動化することで、膨大な記録作業の負担を軽減します。これにより、私たちは「どう書くか」ではなく「何を聞くか」に集中できるようになります。削減された時間は、質の高い相談支援のための貴重な時間となります。さらに将来的には計画作りにAIを使う日がくるかもしれません。AIの分析力を借りて、より多角的でパーソナライズされた計画のヒントを得る。最終的な計画は私たちの専門性と温かい手で作成しますが、AIは支援の可能性を広げてくれます。

AIは「手を抜く」ツールではなく、私たち専門職がご利用者やその家族と向き合う時間を最大化するためのパートナーです。温かさと効率を両立させながら、相談支援の未来を築いていけたらと考えています。

(廣瀧 朋美)



表彰式

「永年通所30年以上、20年、10年、永年勤続10年 おめでとうございます」

秋から冬に季節が変わり始めた11月14日（金）、花の家のホールにて2025年度の表彰式が行われました。

今年度の表彰は「花の家」「クッカ広場」から永年通所 30 年以上の方が3名、永年通所20年が1名、永年通所10年が3名と、総勢7名になり皆様とても素敵なお表情で参加され、大きな盛り上がりを見せ会場を湧かせていました。また、家族会代表の方からはお祝いのお言葉をいただき、会場全体が暖かな雰囲気に包まれるとともに職員一同、今以上に気を引き締め、さらに良い支援を心掛けていきたいと思いました。

また、職員は永年勤続 10 年の表彰者が2名と、東京都社会福祉協議会 会長表彰が2名おり、今後、より一層、活躍の期待を感じさせました。

このような盛大な表彰式が開催できたことを嬉しく思います。（宮本 翔）



2025年の花の家クリスマス会

今年の花の家のクリスマス会は、昨年に予定していた小野路保育園の園児たちによるコンサートが感染症が流行してしまい直前に中止となってしまい、ご利用者、職員共々残念に思っていました。そのリベンジとして今年は花の家での感染症の流行が少なかった為、感染症対策をとりながら念願の小野路保育園の子供たちのコンサートが開かれました。小さい子たちが、小さなマスクを付けて来所されドキドキと緊張しながらも大きな声でクリスマスの歌を5曲歌ってくれました。皆さんのが知っている虹の歌は振り付けて披露して下さり、振りを知っているご利用者も一緒に歌って踊られて楽しまれました。

他のご利用者の皆さんもスズやタンバリンで歌を盛り上げて、中には前へ出て踊って盛り上がるご利用者も数名いて賑やかなクリスマス会になりました。

午後の部は、ひろ子先生のクリスマスコンサートと毎年ご協力のもと恒例のイオンのバイクサンタさんズ！が花の家に来て下さいました。玄関の外へ皆で行かれ、サンタさんズと各々写真を撮ってもらったり、沢山のお菓子を頂きました。花の家からは F グループと G グループで作成した色紙をお渡し、笑顔いっぱいのクリスマス会に幕をおろしました。（高木 瞳）



職員挨拶

こんにちは。2025年12月より一緒に働かせて頂く樋口采音（あやね）です。

生れは栃木県、育ちは埼玉県です。特になにも無い所で育ちました。高校から美術を学んでおり、前職では美術のお仕事をしていました。もしかしたらみなさんの目にも一度は私が携わった作品が映っているかもしれませんね。

趣味は釣りとキャンプです。最近始めたことなのですが、完全にハマってしまい、BBQコンロで焼き鳥を焼くことと、釣った魚をさばいて調理することが特に楽しいです。同じ趣味の方がいましたら、初心者なのでコツなど教えてくださると嬉しいです。

入職して早1ヶ月、まだまだ半人前未満ですが、これからも一生懸命頑張っていきます。宜しくお願ひいたします。





クッカ広場では12月上旬に恒例の小山田花壇の植付け作業を行いました。2週間に分けて1週目は前の草花の撤去作業、2週目は新しい草花の植付けを行いました。園芸職員からのアドバイスも頂き、素敵な花壇が完成しました！是非お近くをお通りの際には花壇をのぞいて見て下さい♪

完成後の花壇



日常の花壇管理の様子



また、リサイクルショップでは12/17(水)～24(水)まで年末のリサイクル品50%OFFセールを行い、最終日にはリサイクル品1000円以上の購入で会計から90%OFFという特大セールを行いました！最終日には行列が出来るほどの大盛況でした。新年はまた、新しいお店に生まれ変わります。新年度もクッカ一同皆様のご来店を心よりお待ちしております。

(植村 友美)

どんぐり写真



新店舗写真





花の郷祭り



10月18日（土）に、今年も秋の恒例花の郷まつりが開催されました。今年は例年と比べ大規模修繕工事が重なった為、少し違った形での開催となりましたが、例年と負けずと劣らずおかげ様で大盛況となりました。天候も少し「大丈夫かな？」と不安もありましたが、皆様のパワーが天に届いたのか、素晴らしい秋晴れの中の開催となりました。

メイン会場には、職員お手製の顔が出せるパネルが飾られ（かなりの力作です！）オープニングはご利用者皆様の参加型の、素敵な商品が当たる「じゃんけん大会」から始まり、大変な盛り上がりの中から始まりました。今年は自主製品にも力を入れ、「ハーバリウムの制作」毎年大好評の「ゲームコーナー」、外のステージでは、午前は「MUMEI PAN BAND」様、午後は「町田出港バンド」様の演奏もあり、皆様も一緒に大変盛り上がり、そして楽しく笑顔が溢れた花の郷祭りとなりました。

来年の花の郷祭りも今年に負けない様な企画で盛り上げて行きたいと思います。（白澤 大樹）



表彰式



11月14日（金）花の郷1階ホールにて法人表彰式が執り行われました。今年は永年通所10周年の方1名、20周年の方4名を対象として執り行われ、職員とご利用者が一同に1階ホールに集まり、施設長からのお祝いの言葉、ご利用者と職員からのお祝いの言葉、記念品の贈呈と執り行われ、最後は皆様とともに「ビリーブ」を合唱し、ご利用者に笑顔も見られ、大変暖かみがあり感慨深い催しとなりました。この場をお借りしまして改めまして、永きに渡り通所された方への心からのお祝いを申し上げると共に、今後も暖かな支援を行いたいと感じました。（白澤 大樹）





11/7（金）日帰り旅行に行ってきました！

行き先は、みんなの会の中で行きたいところの希望を募り、その中から3つの候補「東京観光」「小田原」「江の島」に絞りました。そこから多数決で行き先を決定し、「江の島」に決まりました。

まずは江ノ島水族館見学。水槽に様々な生き物がいて一か所ずつ観察しているとイルカショーの時間ギリギリっていました。観光バスが多く、座って観ることは困難でしたが、遠くからでもイルカショーはとても迫力があり、みんな見入っていました。

昼食は海鮮丼で海鮮丼を味わいました。釜揚げしらす、生しらす、その他さまざまなネタが入った豪華な海鮮丼。豪華な昼食も、普段食べるのが早い方はここでもいつも通りあっという間に食べ終わっていました。

昼食後は江ノ島弁財天仲見世通りを散策。それぞれスイーツやお土産を選ぶなど、日々の作業を忘れて観光を楽しんでいました。（加藤 優樹）



ボワ・アルモニー 永年勤続表彰式



11月14日、永年勤続表彰式を行いました。毎日通所し活動に参加しながら過ごしてこられた時間は一人ひとりにとって大切な歩みです。その日々の積み重ねに感謝の気持ちを込めて賞状をお渡しました。

アルモニーでは勤続30年2名、20年2名、10年4名、計10名の方が表彰されました。みなさん少し緊張しながらも笑顔で賞状と花を受け取り、周囲からのあたたかい拍手に、会場は終始やさしい空気に包まれました。

受賞者からのひとことでは「お仕事がんばります！」とやる気に満ちた目標を発表してくれました。それぞれの歩みをこれからも大切にしていきます。（鈴木 香）



児童支援部

ボワ・コンサール



新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします！

ボワ・コンサールでは12月に入ると一気にクリスマスモードになり、クリスマスツリーやサンタの工作、デコレーションケーキのクッキングを行いました。工作をしている時にサンタさんに何をプレゼントでお願いしたかを話す子もいれば、工作をしながらクリスマスソングを歌う子もいました。

今年も様々な活動を通して、楽しみながらも「頑張った！」「できた！」と感じられるようにしていきたいと思います。

最後になりますが、赤い羽根共同募金の期間中には皆様より多くのご協力をいただきました。誠にありがとうございました。
(渡邊千春)



ボワ・エール



新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

ボワ・エールの12月は行事が盛りだくさんでした。クリスマス制作、次の年のカレンダー作り、クリスマスのデコレーションケーキのクッキングと週替わりで行事がやってきます。いつもと違う活動が続きますが、「クリスマスのプレゼントはなにかなー」「年が明けたらもうすぐ卒業です」と年末らしい話題で盛り上がりながら、皆さん真剣な面持ちで取り組んでいました。

年が明けるといよいよ次の学年、進路に向けての動きが本格的になってまいります。新しい環境に向けて不安になることもあるとは思いますが、エールでは皆様が楽しく、安心した環境で過ごしていけるようにしていきたいと思います。

赤い羽根共同募金の期間中には、たくさんの皆様にご協力をいただきました。誠にありがとうございました。
(上田哲明)





はるかぜ 今までありがとう！そしてさようなら

今まで
ありがとうございました！

2006年に開設されたグループホームはるかぜ。社会福祉法人 空によって運営されていましたが、2017年にボワ・すみれ福祉会と合併し、現在に至ります。

そんなはるかぜですが、老朽化により本年1月をもって惜しまれつつも廃止する運びとなりました。はるか

ありがとう さようなら

ぜで暮らすご利用者4名は、1月31日、あかね、ひなたへとそれぞれ引っ越しします。

地域の盆踊りに参加したり、毎年正月は近所にある箭幹八幡宮を参拝したり、日当たりのよい窓辺でひなたぼっこをしたり、時にご利用者同士で喧嘩をしたり笑いあったり…。はるかぜには数えきれないほどたくさんの思い出が詰まっています。

合併するずっと前からはるかぜで暮らしてきたご利用者たちは、今何を思うのか？

廃止を悲しむ一方で、新生活に期待を寄せるご利用者もいれば、「(新生活に対し)

思うことも言うことも何もない！」と涙を浮かべるご利用者もいます。

慣れ親しんだ建物から離れることは大きなストレスとなるでしょうし、受け入れる側のあかね、ひなたのご利用者にとっても緊張感のあることだと思います。

引っ越し側と受け入れる側、双方がこれまでと同じように安全に、そして一日も早く安心して暮らせるよう我々職員はサポートしてまいります。(清水 雅也)



歴史を感じさせる看板



ボワ・すみれ福祉会後援会

事業報告1 「親なき後に備えて」 研修会を開催しました

募集中！
会員を募集しております

11月27日(木) 町田市民ホール会議室にて「親なき後に備えて」～グループホーム～
講師に町田市鶴川地域障がい者支援センター長 石橋彰様をお迎えして、研修会を開催しました。

開催1時間前より多数の方々が並ばれ、開催時刻10時には、ほぼ満席となりました。市民ホールより定員オーバーは不可とのことにて入室をお断りするほどの盛況でした。

高齢家族や、ご夫婦での来場者数の多さに、改めて「親なき後に備えて」を考えることの重要性を思い、役員一同、今後も研修会開催の必要を感じた次第です。



事業報告2 「寄付金交付・作業委託謝礼」 の贈呈式が執り行われました

12月18日(木) 花の家ホールにて、令和7年度の寄付金事業と作業委託謝礼の贈呈式が執り行われました。

櫻井会長から田部井理事長へ、寄付金事業費50万円と地域貢献事業費10万円の目録を贈呈いたしました。

続けて、櫻井会長から、後援会資料の発送作業等をお願いしているご利用者さんへ作業委託の謝礼金をお渡ししました。

櫻井会長とご利用者がわいわいと楽しそうに写真に収まりました。



発行 社会福祉法人ボワ・すみれ福祉会 理事長 田部井 真



東京都町田市下小山田町3267-2
TEL: 042-797-6044(代) / FAX: 042-797-4824
E-mail: hananoie@poem.ocn.ne.jp
<https://bowasumire.jp/>

